

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

感染拡大防止体制支援事業（事業番号1）

2 事業期間

令和2年5月～令和3年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
合計 4,570,312 円	一般財源	1,312 円
2,454,100 円（総務係）	臨時交付金	4,569,000 円
1,581,767 円（健康増進係）		
534,445 円（学校保育係）		

4 事業概要

コロナ感染防止対策として公共施設に非接触式検知器、アルコールディスペンサー等を設置。また、医療機関、薬局、介護保険事業所等に消毒用アルコール等を配付。

5 実施状況

<公共施設（総務係）>

非接触式検知器 18 台 1,485,000 円 アルコールディスペンサー16 台ほか 969,100 円

<公共施設（学校保育係）>

パストリーゼ 44 缶 375,408 円 ポリエチロング手袋ほか 67,037 円

非接触体温計 26,500 円 衝立 12,500 円

ペーパータオル、液体せっけんほか 53,000 円

<医療機関等配付（健康増進係）>

消毒用アルコールが不足している医療機関等には消毒用アルコールを配付。自治会や個人等には消毒用アルコールの代替として次亜塩素酸水を配布するため、次亜塩素酸水生成装置を池田町総合福祉センター「やすらぎの郷」内に設置し、感染拡大防止に役立てた。

①消毒用アルコールの配付先と数量

消毒液 1,049,652 円 ポンプ 1,384 円

配布商品	バルククリーンハート		パストリーゼ		合計
	1個	10L	1缶	18L	
医療機関、薬局等			15施設	17缶	15施設
介護保険事業所	4施設	7個	23施設	37缶	27施設
合計	4施設	7個	38施設	54缶	42施設

②次亜塩素酸水の配布先と数量（令和2年10月1日より配布）

次亜塩素酸生成装置 530,200円 食塩他 567円

	個人	自治会	医療・介護事業所	商店・会社	合計
件数	70件	5件	25件	40件	140件
数量	129.4ℓ	42.0ℓ	55.7ℓ	209.2ℓ	436.3ℓ

6 検証方法

各施設管理者、来庁者、配付先の介護保険事業所等への聞き取りにより検証。

7 検証結果

①対象事業の効果感 効果あり 100% 効果なし0%

②どのような効果があったか

- ・購入した備品により感染予防対策が図られ、来庁者のコロナ感染の意識改革に繋がった。（施設管理者）
- ・購入した消耗品により感染予防対策を講じることで、施設における感染拡大防止策の強化を図ることができた。（施設管理者）
- ・消毒薬が手に入りにくい時期があり、また、価格も高騰していたため配付はありがたく、利用者の健康を守ることができた。（介護施設）
- ・消毒用アルコールは高く購入が難しかったが、次亜塩素酸水を無料で配布していただき、経費削減ができて助かった。（個人事業所）

担当 総務課総務係
健康福祉課健康増進係
学校保育課学校保育係

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

公共的空間安全・安心確保事業（事業番号2）

2 事業期間

令和2年5月～令和3年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
406,316 円	一般財源	316 円
	臨時交付金	406,000 円

4 事業概要

来庁者と職員の間には衝立を設置し、飛沫感染を防ぐ。

5 実施状況

衝立 87 枚を各窓口及び職員間の机に設置

6 検証方法

職員及び来庁者に聞き取りにより検証を実施。

7 検証結果

①対象事業の効果感 効果あり（100%） 否定的意見はなかった

②どのような効果があったか

窓口や職員間での飛沫防止に繋がった。また、業者発注になると時間が掛かるし高価なため、手作りで作成したため材料費のみと安価ででき、早急に設置することができた。

担当 総務課総務係

令和4年9月28日

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

防災活動支援事業（事業番号3）

2 事業期間

令和2年6月～令和3年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
4,758 千円	一般財源	490 円
	臨時交付金	4,758 千円

4 事業概要

万が一の災害を想定した町内の避難施設用として、コロナ感染防止を目的とした装備を配備する。

5 実施状況

町内避難施設用としてパーテーション（避難者用間仕切り）130張、パーテーション用屋根を10張、エアベッド104台、大型扇風機13台を購入して配備した。

6 検証方法

担当者試用による検証。実際の災害が発生していないので効果は未検証

7 検証結果

大きな効果が望める。パーテーションは高さが1.2m×60張、1.4m×70張、屋根×10張配備し、低い物の中が見やすいタイプで安否確認が容易、高いものはプライバシー重視タイプとなっている。必要に応じ屋根を使用することにより、ある程度の隔離スペースを作ることにも可能。大型扇風機も風力が強く、換気に有効。（実際の災害が発生していないので効果未検証）

担当 危機管理対策室

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

コロナ対策融資保証料補給事業（事業番号4）

2 事業期間

令和2年5月～令和3年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
事業費総額 4,331,430 円 (うち交付金対象額 4,293,597 円)	一般財源	38,430 円
	臨時交付金	4,293,000 円
	合計	4,331,430 円

4 事業概要

町の新型コロナウイルス感染症対策特別資金融資を借り入れた事業者に対し、融資に係る保証料を支援する。

5 実施状況

融資対象事業者：24事業者（交付金対象：23事業者）

融資対象件数：26件（交付金対象件数：25件）

6 検証方法

事業対象者より聞き取りを実施。

①対象事業の効果感

②どのような効果があったか

7 検証結果

①対象事業の効果感 大きな効果あり

②どのような効果があったか

保証料の納付を気にすることなく融資を受けることができた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

県・市町村連携 新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業（事業番号5）

2 事業期間

令和2年4月～10月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
事業総額 2,400,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	2,400,000 円

4 事業概要

新型コロナウイルス感染拡大による県の休業要請に応じた事業所一件あたり30万円を支援（うち町負担は10万円）

5 実施状況

申請事業者24件（事業者への給付は長野県が実施）

6 検証方法

事業者より聞き取りを実施。

7 検証結果

- ・休業による売り上げ減少等の影響を緩和することができた。
- ・当面の営業資金として活用した

担当 振興課 商工観光係

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

池田町中小企業経済対策支援金事業（事業番号6）

2 事業期間

・商工会加入者：令和4年5月～7月 ・商工会未加入者：令和4年8月～9月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
商工会加入事業所向け	一般財源	322 円
支援金総額 27,100,000 円	臨時交付金	41,986,500 円
商工会事務委託料 86,822 円		
商工会未加入事業所向け		
支援金総額 14,800,000 円	合計	41,986,822 円

4 事業概要

新型コロナウイルス感染拡大により事業経営に影響を受けた事業者に、支援金として一律10万円を給付。（商工会加入者は、申請受付及び給付の事務を池田町商工会に委託）

5 実施状況

- ・商工会加入者 支給件数 271 件 支給総額 27,100,000 円
- ・商工会未加入者 支給件数 148 件 支給総額 14,800,000 円

6 検証方法

申請者総数の15%を目途に無作為抽出してアンケートを（事業No.12の重点支援金事業と併せて）実施。支援金の使途、及び効果の有無について記入依頼

7 検証結果

- ・回答率 商工会加入者：60%、商工会未加入者：42%
- ・支援金の使途
 - 商工会加入者 営業資金として：83% 従業員給与として：17%
 - 商工会未加入者 営業資金として：100%
- ・事業の効果
 - 商工会加入者 大いにあった：67% 少しあった：33%
 - 商工会未加入者 大いにあった：67% わからない：33%
- ・意見など
 - ・大変助かった。
 - ・今後、事業所の規模に応じた給付方法や仕組みを考えてほしい。

担当 振興課商工観光係

令和3年12月28日

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

学生応援臨時給付金（事業番号7）

2 事業期間

令和2年6月～令和2年12月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
1,980,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	1,980,000 円

4 事業概要

新型コロナウイルス感染防止により、アルバイト収入の減少や帰省自粛などの影響を受けている学生の皆さんを応援するための臨時一時金の支給。

5 実施状況

申請者198名に現金1万円を支給した。

6 検証方法

申請者数により多くの対象者を応援できたかを確認。(成果)申請者数 198名
支給処理回数により速やかに応援できたかを確認。(成果)支給処理 15回

7 検証結果

学生198名に対し速やかに支給することができ、困難な状況にある学生の皆さんを応援できた。保護者の方からも感謝の言葉があった。

担当 住民課保険医療係

令和3年12月28日

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

子育て世帯応援臨時給付金（事業番号8）

2 事業期間

令和2年6月～令和2年11月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
12,130,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	12,130,000 円

4 事業概要

新型コロナウイルス感染防止による休校などにより、経済的な負担が増加するなどの影響を受けている子育て世帯の生活を応援するための町独自の給付金（一時金）を支給。

5 実施状況

高校3年生までの対象児童1,213人に支給を行った。

6 検証方法および結果

子育て世帯に支給し、子育て世帯を応援できたかを確認。

（成果）総支払件数796件、対象児童1,213人

要申請者に支給し、子育て世帯を応援できたかを確認。

（成果）申請数46件、対象児童76人

7 検証結果

国制度の子育て世帯への臨時特別給付金とあわせて支給を行い子育て世帯へ応援ができた。

国制度の子育て世帯への臨時特別給付金の対象外の世帯への支給も行い子育て世帯へ応援ができた。

保護者の方からの感謝の言葉があった。

担当 住民課保険医療係

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

町内飲食店弁当配達事業（事業番号9）

2 事業期間

令和2年5月～令和3年2月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
事業総額 1,000,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	1,000,000 円
	合計	1,000,000 円

4 事業概要

新型コロナウイルス感染拡大により、経営面等で影響を受ける飲食事業者、及び外出自粛等の影響を受ける町民及び町内事業所等への支援として、昼食等の飲食メニュー宅配受注配達業務を実施。

事業は池田町観光協会へ委託。

5 実施状況

加盟事業所 20 件、配達軒数：1,746 件、配食数：7,257 個

6 検証方法

事業委託者（池田町観光協会）より提出された事業報告書による。

7 検証結果

- ・連日、多くの世帯より受注を受け大変好評であった。特に、本来であれば節目の行事（地区のお祭りや学校行事等）の時期に外出、外食が出来ないという理由から注文を受けることが多く、需要の大きさを感じた。
- ・飲食事業者からも、経営の維持に繋がるとして感謝の声をいただいた。

令和4年9月15日

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

小中オンライン学習端末整備事業（事業番号 10）

2 事業期間

令和2年8月～令和3年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
	18,600,020 円	一般財源
臨時交付金		18,600,000 円

4 事業概要

小中学校の児童生徒教職員に1人1台オンライン学習用の端末を配付（貸与）する。

5 実施状況

小中学校の児童生徒教職員710人（+予備機45台）にChromebookを配付（貸与）した。

6 検証方法

ICT支援員に聞き取り

7 検証結果

①対象事業の効果感：大きな効果あり

②どのような効果があったか

- ・GoogleWorkspaceの利用により、自宅で行った学習をそれぞれのクラスのClassroomに提出するなどオンライン学習に活用できている
- ・コロナ関係で出席停止となった児童生徒についても、1人1台端末を使ったオンライン会議システム（GoogleMeet）により自宅から授業に参加することができた

担当 学校保育課学校保育係

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

遠隔・オンライン学習の環境整備・GIGA スクール構想への支援事業（事業番号 11）

2 事業期間

令和2年6月～令和3年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
880,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	880,000 円

4 事業概要

授業計画の作成支援、ICT 機器の準備・操作支援、研修支援を委託

5 実施状況

教員免許を持った ICT 支援員が曜日ごとにそれぞれの学校へ出向き、1 人 1 台端末の設定や操作支援、端末を活用した授業支援や職員研修などを行った

6 検証方法

町内 3 校の教頭・情報担当職員へ以下の項目の聞き取り

- ①対象事業の効果感（大きな効果あり・やや効果あり・効果なし・不明）
- ②どのような効果があったか（自由記述）

7 検証結果

①対象事業の効果感：大きな効果あり

②どのような効果があったか

- ・ 1 人 1 台端末が導入されたばかりでどのように活用すればよいかもわからない中、Workspace のアカウント設定や利用方法など初期の設定、教員の研修などをきめ細かく行ってもらえたため、大きな混乱なく移行できた。
- ・ PC を使うことを苦手としている教員でも授業で活用できる方法などを提案してもらったり、教員免許を持った ICT 支援員なので、機器の使い方だけでなく授業の進め方のアドバイスなどもあったため、スムーズな授業展開ができた。
- ・ 保護者からの ICT 関連の質問の一次対応など、教員がすぐ対応できない（わからない）部分も柔軟に対応してもらえたため、教員の負担軽減になった。

担当 学校保育課学校保育係

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

池田町中小企業経済対策重点支援金事業（事業番号12）

2 事業期間

・商工会加入者：令和4年5月～7月 ・商工会未加入者：令和4年8月～9月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
商工会加入事業所向け	一般財源	497 円
支援金総額 9,945,000 円	臨時交付金	15,001,500 円
商工会事務委託料 60,997 円		
商工会未加入事業所向け		
支援金総額 4,996,000 円	合計	15,001,997 円

4 事業概要

池田町中小企業経済対策支援金の支給を受けた事業者のうち、前年3月又は4月と現年同月との売上を比較して50%以上減額している者に対し、追加支援分として支援金を最大30万円給付する。（商工会加入者は、申請受付及び給付の事務を池田町商工会に委託）

5 実施状況

- ・商工会加入者 支給件数71件 支給総額9,945,000円
- ・商工会未加入者 支給件数48件 支給総額4,996,000円

6 検証方法

申請者総数の15%を目途に無作為抽出してアンケートを（事業No.6の基本支援金事業と併せて）実施。支援金の使途、及び効果の有無について記入依頼

7 検証結果

- ・回答率 商工会加入者：60%、商工会未加入者：42%
- ・支援金の使途 商工会加入者 営業資金として：83% 従業員給与として：17%
商工会未加入者 営業資金として：100%
- ・事業の効果 商工会加入者 大いにあった：67% 少しあった：33%
商工会未加入者 大いにあった：67% わからない：33%
- ・意見など
 - ・大変助かった。
 - ・今後、事業所の規模に応じた給付方法や仕組みを考えてほしい。

担当 振興課商工観光係

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

町内利用商品券の発行事業（事業番号13）

2 事業期間

令和2年7月～令和3年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
商品券換金額 192,338,000 円 商工会事務委託料 3,000,000 円 商品券発送郵便料 1,882,327 円	一般財源	327 円
	臨時交付金	169,235,000 円
	県補助金	27,985,000 円
	合計	197,220,327 円

4 事業概要

町内での消費拡大を図り、地域経済を下支えするため、商品券を発行し町民全員に配布する。
一人当たり商品券1冊（額面合計20,000円）
商品券の印刷、発行及び商品券の換金事務を池田町商工会に委託。

5 実施状況

商品券発行対象者 9,764 人×20,000 円＝ 195,280,000 円
換金総額 192,338,000 円 利用率 98.49%

6 検証方法

事業委託者（池田町商工会）より提出された事業報告書による。

7 検証結果

- ①町内の店舗等で使用できる商品券配布により、町内の経済活動を支えることが出来た。
- ②町内の消費向上および生活に対する支援として効果があった。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

指定管理者支援金事業（事業番号14）

2 事業期間

令和2年9月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
事業費総額 300,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	300,000 円
	合計	300,000 円

4 事業概要

池田町ハープセンターの指定管理者に対し、新型コロナウイルス感染拡大の影響の大きかった3ヶ月分の使用料の1/3を補助。

5 実施状況

使用料30万円×3ヵ月×1/3（対象月：令和2年4月～6月分）

6 検証方法

指定管理者より聞き取りを実施。

7 検証結果

- ・交付された支援金は、令和2年10月以降の施設使用料支払いへ充当。
- ・支援金を受けたことで、ハープセンターの維持運営に一定の効果があったと感じている。
- ・コロナの影響による観光客や売り上げの減少は続いている。施設の維持や経営の弱体化を防ぐため、今後も支援をお願いしたい。

担当 振興課 商工観光係

令和5年1月11日

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

北アルプス広域連合負担金事業（事業番号15）

2 事業期間

令和2年7月～令和2年8月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
232,000円	一般財源	0円
	臨時交付金	232,000円

4 事業概要

コロナ感染の影響を受けないよう、広域消防本部の消防署員用としてマスク他衛生用品購入のための負担金を納付。

5 実施状況

広域消防署救急隊員全員に感染防止衣、マスクを、署所に消毒用アルコール、ペーパータオル、非接触温度計購入用費用として負担金を納入した。

6 検証方法

消防署員に確認

7 検証結果

- ・今回の購入資金があったことで迅速かつ的確に配備することができ、地域の安全確保に貢献できた。
- ・急出動に支障が出ないよう対応でき、通常勤務での集団感染防止に対する効果があった。

担当 総務課危機管理対策室

令和4年9月6日

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

図書館パワーアップ事業（事業番号 16）

2 事業期間

令和2年8月～令和3年3月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
1,741,986 円	一般財源	986 円
	臨時交付金	1,741,000 円

4 事業概要

在宅で少しでも有意義に過ごしてもらい外出抑制につなげるため蔵書を増やす。また、安心して書籍を借りられるよう書籍の消毒機を導入する。

5 実施状況

書籍購入（233冊）、書籍消毒器購入（1台）

6 検証方法

図書館司書に利用者の様子を聞き取り

7 検証結果

子どもも含め、書籍消毒器の使用は習慣化しており、図書館利用者の安心につながった。また、幅広い世帯を対象として蔵書を増やしたことで、有意義な在宅時間につながった。

担当 生涯学習課生涯学習係

令和4年9月6日

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

行政・教育情報発信力強化事業（事業番号17）

2 事業期間

令和2年8月～令和3年9月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
1,345,394 円	一般財源	17,394 円
	臨時交付金	1,328,000 円

4 事業概要

三密対策により直接情報を伝達できない行政情報や教育情報を動画を使い発信する。

5 実施状況

・動画配信用備品の購入

6 検証方法

導入機器により実施した会議件数、再生回数

7 検証結果

会議回数12回、同時視聴70件、再生回数15,020回

会場参加者とオンラインによる同時視聴との組み合わせにより、参加者が分散され密の回避に役立った。また、動画配信することにより会場参加型の会議と比べ多くの視聴があり、会議内容の周知及び広報に非常に大きな効果があった。

担当 生涯学習課生涯学習係

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

店舗・事業所感染症予防対策事業補助金事業（事業番号18）

2 事業期間

令和2年9月～令和3年1月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
事業費総額 6,439,000 円	一般財源	0 円
	臨時交付金	6,439,000 円
	合計	6,439,000 円

4 事業概要

新型コロナウイルス感染拡大防止のために事業者が購入した機材の経費に対して補助金を交付する。
対象経費の2/3、上限20万円。

5 実施状況

申請件数67件、給付総額6,439,000円

6 検証方法

申請者のうち、製造、建設、医療、理美容、飲食小売の各事業者から代表1事業者を抽出してアンケートを実施。支援金の給付額や効果の有無について記入依頼。

7 検証結果

- ・回答率 57%
- ・支援金の給付割合 適切だった：50% 少なかった：50%
- ・事業の効果 大いにあった：25% 少しあった：75%
- ・意見など 特になし

担当 振興課商工観光係

令和4年9月20日

令和〇年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

学校臨時休業対策費補助金（事業番号 19）

2 事業期間

令和2年4月～令和2年5月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
208,264 円	一般財源	264 円
	臨時交付金	52,000 円
	国庫補助金	156,000 円

4 事業概要

学校臨時休業等により影響を被る牛乳などの学校給食用食材納入事業者への支援。
食材受注がキャンセルとなった学校給食用食材納入業者に対して、経費を負担した。

5 実施状況

有限会社 松田乳業 164,445 円（給食用牛乳キャンセル料）
公益財団法人長野県学校給食会 43,819 円（給食用パン麺キャンセル料）

6 検証方法

納入2事業者に聞き取りにより検証を実施。

- ①対象事業の効果感
- ②どのような効果があったか

7 検証結果

- ①対象事業の効果感 大きな効果あり
- ②どのような効果があったか
急遽キャンセルとなった食材に係る経費を補助したことで、納入事業者の事業継続の支援ができた。

担当 学校保育課学校保育係

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業（事業番号 21）

2 事業期間

令和2年11月～令和3年7月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
27,490 千円	一般財源	0 円
	臨時交付金	308 千円
	国庫補助	13,882 千円
	起債	13,300 千円

4 事業概要

小中学校校内 LAN 整備、電源キャビネット（充電保管庫）整備

5 実施状況

校内 LAN：町内3校の現在使用しているすべての教室への無線 LAN ルータ設置とそれに伴う電源関係整備が完了。

充電保管庫：1人1台端末用の電源キャビネットを各学年に整備した（全21台）。

6 検証方法

各校教頭及び ICT 支援員へ実態の聞き取り

7 検証結果

3校の校舎内すべてのエリアで、上り 180Mbps・下り 86Mbps・Ping 値 18ms 以上の安定した速度で接続が可能。また、教室においてクラス全員の端末を同時接続した場合でも、平均して上り 100Mbps・下り 83Mbps 程度となり、授業で端末を使用する場合も不都合なく接続できる環境である。

担当 学校保育課学校保育係

令和4年9月15日

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業継足し単独分（事業番号22）

2 事業期間

令和2年11月～令和3年7月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
		一般財源
3,310千円	臨時交付金	3,310千円

4 事業概要

小中学校校内LAN整備、電源キャビネット（充電保管庫）整備

5 実施状況

校内LAN：町内3校の現在使用しているすべての教室への無線LANルータ設置とそれに伴う電源関係整備が完了。

充電保管庫：1人1台端末用の電源キャビネットを各学年に整備した（全21台）。

6 検証方法

各校教頭及びICT支援員へ実態の聞き取り

7 検証結果

3校の校舎内すべてのエリアで、上り180Mbps・下り86Mbps・Ping値18ms以上の安定した速度で接続が可能。また、教室においてクラス全員の端末を同時接続した場合でも、平均して上り100Mbps・下り83Mbps程度となり、授業で端末を使用する場合も不都合なく接続できる環境である。

担当 学校保育課学校保育係

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

子ども・子育て支援交付金（事業番号 23）

2 事業期間

令和2年4月～令和2年5月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
308,447 円	子ども・子育て支援 交付金国庫補助金	136,000 円
	子ども・子育て支援 交付金県費補助金	72,447 円
	臨時交付金	100,000 円

4 事業概要

新型コロナウイルス感染防止のための小学校等の臨時休校に関連した、放課後児童クラブ活用による子どもの居場所の確保。（緊急一日開館した際にかかった経費）

5 実施状況

小学校の臨時休校に伴い、保護者が休暇を取得することが困難な家庭や、特に小学校低年齢の子ども等留守番が困難な家庭について、感染予防に留意した上で一日開館し受け入れを行っていく。（通常は1時45分開館のところ、午前7時30分から開館。）

6 検証方法

児童、保護者に聞き取り。

7 検証結果

① 対象事業の効果感：大きな効果あり

② どのような効果があったか

・放課後児童クラブの一日開館により、保護者が休暇を取得する事が困難な家庭や、保護者が医療職等の社会的要素が強い職業に就いている場合等、子どもの居場所の確保をすることで、保護者の負担軽減、子ども達の有意義な時間の確保につながり大きな効果があった。

担当 学校保育課児童センター係

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

実施状況及び効果検証報告書

1 事業名（事業番号）

池田町インフルエンザワクチン接種助成事業（事業番号 24）

2 事業期間

令和2年10月～令和3年2月

3 事業費（財源内訳）

総事業費	財源内訳	
9,975,554 円	一般財源	3,480,554 円
	臨時交付金	6,495,000 円

4 事業概要

新型コロナウイルス感染症の症状と似ているインフルエンザの感染拡大を防止し、住民の健康を守ると同時に医療負担の軽減を図る。

5 実施状況

高齢者及び60歳以上の心・肺・腎障害者のインフルエンザワクチン接種費用の一部補助を実施

①接種対象者数と実施率

対象者数	接種者数	接種率
3,796 人	2,710 人	71.4%

6 検証方法

接種率で確認

7 検証結果

①令和元年度の接種率は59.9%であったが、令和2年度は71.4%と11.5ポイント増加した。